

文字学習の基礎

なぞり書きから写し書きへのステップ

井上雅彦

(1) なぞり書き

- ステップ1 筆記具を持って動かせる(書いたものを見ていなくてもよい)
- ステップ2 筆記具を持って動かせる(書いたものを時々見る)
- ステップ3 筆記具を持って動かすことができ、かつペン先を追視できる
- ステップ4 枠内を筆記具を使って動かせる

ポイント

姿勢をまっすぐにし、紙を置く位置は正中線より利き手がわにややずらす。

腕や手首の使い方・筆記具の持ち方・持つ位置に注意します。筆記具は筆圧にあわせてフェルトペンか美術用のえんぴつを使用する。

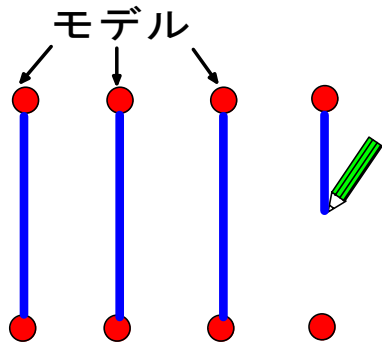
(2) なぞり書き

- ステップ1 縦線がなぞれる
- ステップ2 横線がなぞれる
- ステップ3 十字・曲線がなぞれる
- ステップ4 1～2角程度の構造が簡単な仮名文字(へ・し・て・つ・く・い・り・こ等)をなぞり書きできる
- ステップ5 1～2角程度の構造が複雑な仮名文字(う・す・ん・ら・ち・と・ひ・ろ・の等)をなぞり書きできる
- ステップ5 - 1 一角ずつなぞれる
- ステップ5 - 2 二角一度になぞれる

- ステップ6 複雑な仮名文字(め・ぬ・あ・れ・わ・き・ま・な・を等)をなぞり書きできる
- ステップ6 - 1 一角ずつなぞれる
- ステップ6 - 2 二角一度になぞれる
- ステップ6 - 3 一文字一度になぞれる

- ステップ7 単語を一度になぞれる
- ステップ8 徐々に縮小してもなぞれるように

線ひき課題

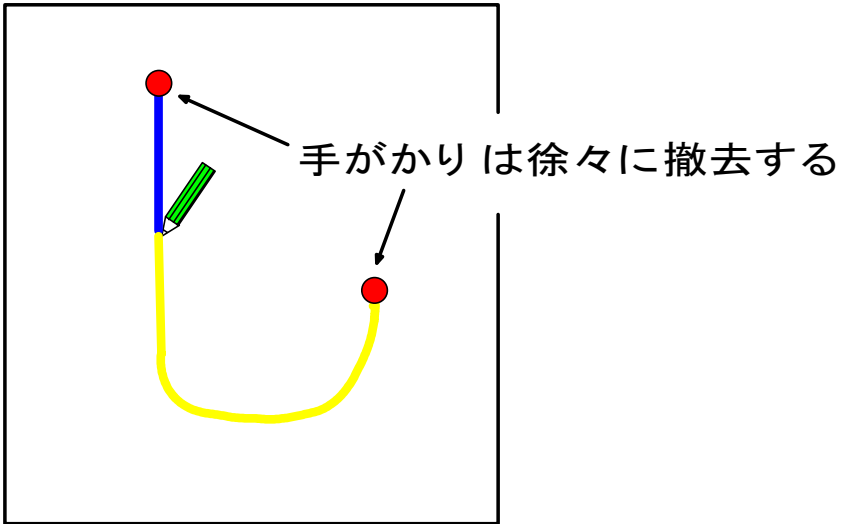


- ・ 縦書き → 左から右へ
十字 →
- ・ 紙を置く位置、向き、姿勢、持ち方、肘肩手首の緊張に注意
- ・ 援助は徐々に少なくする

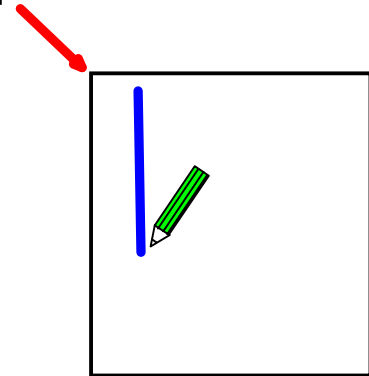
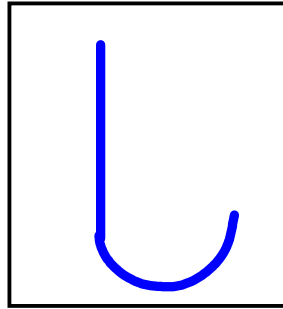
チェックリストの例
始点 ○ ○ ○
途中 △ △ ○
終点 △ △ △

なぞりがき課題

単純なものから複雑なものへ
大きさは徐々に小さく



かき写し 課題 (コピーイング)



- ・ なぞりでできるようにになった課題で行う
- ・ モデルに注目させる
- ・ モデルは最初は見やすい位置に徐々に遠ざけ、黒板の位置まで

(3) 写し書き (コピーイング)

ステップ1 縦線が写せる

ステップ2 横線が写せる

ステップ3 十字・曲線が写せる

ステップ4 1～2角程度の構造が簡単な仮名文字(へ・し・て・つ・く・い・り・こ等)を写し書きできる

ステップ5 1～2角程度の構造が複雑な仮名文字(う・す・ん・ら・ち・と・ひ・ろ・の等)を写し書きできる

ステップ5 - 1 一角ずつ写せる

ステップ5 - 2 二角一度に写せる

ステップ6 複雑な仮名文字(め・ぬ・あ・れ・わ・き・ま・な・を等)をうつし書きできる

ステップ6 - 1 一角ずつ写せる

ステップ6 - 2 二角一度に写せる

ステップ6 - 3 一文字一度に写せる

ステップ7 単語を一度に写せる

ステップ8 徐々に縮小しても写せるように

ポイント

最終的には黒板の文字をノートに写せるように見本と実際に書く紙の距離を徐々に遠ざけていきます。なぞり書きが達成された文字から順次導入していきます。

